



町の産業活性化に向け先進地を行政視察研修（隠岐の島町 だんだん牧場）

# 田子町 議会だより

2016



## 第86号

平成28年1月27日発行  
青森県田子町議会

### 目次

補欠選挙で砂子田議員当選……………	2
一般質問に5議員登壇……………	4
先進地から学び町政に生かす ……	11
(議会活動報告)	
田子町の女性の活躍に期待……………	14
(町の人にインタビュー)	

# 第4回定例会

## 定例会のあらまし

平成27年第4回定例会は12月1日から3日までの3日間の会期で開催されました。

本会議初日には、条例改正や補正予算案など8件の議案が提出され、町長から提案理由の説明がありました。その後、2日までの2日間で5人の議員が一般質問をし、町政全般にわたり活発な議論が交わされました。

3日には、初日に町長から説明のあった議案について厳正な審議が行われました。

## 主な補正予算

一般会計 歳入

一般会計 歳出

子ども・子育て支援事業費補助金 421万4千円

総務費 郵便料 110万円

児童保育事業、延長保育事業、一時預かり事業が名称を変更して県補助金から組み替えとなったもの

ふるさと納税など各種事業の実施により追加するもの

社会保障・税番号制度システム整備費補助金 373万3千円

衛生費 インフルエンザ予防接種事業補助金 250万円

マイナンバーに係る中間サーバー負担金

ワクチン価格の上昇分と、13歳未満の2回目の自己負担分を無料とすることによるもの

立木売却収入 420万7千円

農林水産業費 農林水産業需用費 145万8千円

分収造林契約に基づき交付されるもの

有機物資源活用センターの堆肥攪拌機の修繕

農地中間管理機構集積協力交付金 1011万2千円

商工費 イベント協力事業補助金 207万円

耕作者集積協力金、経営転換協力金、地域集積協力金として、農地中間管理機構から交付されるもの

フェザン通り商店街街路灯完成に伴うイベントに対する補助

物品売却収入 385万5千円

除雪ドーザ売却代金

# 第2回臨時会

## 臨時会のあらまし

平成27年第2回臨時会は12月25日の1日間の会期で開催されました。はじめに、12月20日に行われた田子町議会議員補欠選挙で当選した砂子田康雄議員の紹介がありました。その後、砂子田議員の当選に伴う議席の一部変更や常任委員の選任、田子高原広域事務組合議会議員の選挙が行われました。また、報告1件を含む2件の議案が町長から提案され、審議しました。

報告第8号 平成27年度田子町一般会計補正予算(第4号)

内容 町議会議員補欠選挙の経費について専決処分したもの

審議結果 承認

議案第61号

平成27年度田子町一般会計補正予算(第5号)

内容 平成25年9月16日の台風18号により、被害のあった林ノ渡橋の復旧事業に要する経費について補正するもの

審議結果 可決

## 新議員の紹介



氏名 砂子田 康雄 (68歳・5期・山口)  
任期 平成27年12月21日 ~平成31年5月29日  
所属委員会等 産業・民生常任委員会 田子高原広域事務組合議会議員

## 議案審議の結果



# 審議結果

補正予算や条例改正など、  
8件の議案が提出され、審議しました。  
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第53号	<b>田子町固定資産評価審査委員会委員の選任</b> 固定資産評価審査委員の澤頭清氏が、平成28年1月18日で任期満了になるため、同氏の再任について議会の同意をお願いするもの。 任期：平成28年1月19日～平成31年1月18日	可決 (賛10・否0)
議案第54号	<b>第6次田子町総合計画基本構想（平成28年度～平成37年度）</b> 平成28年度から平成37年度までの10年間の新たなまちづくりビジョンとなる第6次田子町総合計画基本構想を策定するもので、議会の議決を求めるもの。	可決 (賛10・否0)
議案第55号	<b>田子町町税条例の一部改正</b> 地方税法等の一部改正する法律が公布されたことに伴いまして、所要の規定の整備をするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第56号	<b>田子町行政手続における特定の個人を識別するための番号利用法に関する法律施行条例の制定</b> 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（通称マイナンバー法）の規定に基づき、個人番号の利用に必要な事項を定めるもの。	可決 (賛10・否0)
議案第57号	<b>平成27年度田子町一般会計補正予算（第3号）</b> 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1830万7千円を減額し、総額44億1302万円とするもの。 ○主な歳入補正 子ども・子育て支援事業費補助金421万4千円、除雪ドーザ売払代金385万5千円など。 ○主な歳出補正 インフルエンザ予防接種事業補助金250万、消防水利施設設置工事費150万円など。	可決 (賛10・否0)
議案第58号	<b>平成27年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）</b> 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2039万6千円を減額し、総額11億6780万2千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第59号	<b>平成27年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）</b> 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ28万1千円を減額し、総額10億3634万7千円とするもの。	可決 (賛10・否0)
議案第60号	<b>平成27年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第3号）</b> 既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1997万9千円を減額し、総額5億6628万4千円とするもの。	可決 (賛10・否0)

# 一般質問



議員 大藤 宇

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。12月定例会では議員5人が一般質問を行いました。

## 農業振興

**【質問】** 農業従事者の高齢化、旧態依然とした後継者不足、耕畜連携やにんにくの生産拡大、新たな代替作物の開発、普及、現状を打破する劇的な取り組みに着手してはもらえないか。

畑に優良堆肥を散布し、農家からは好評を得ている。

新規作物の開発や普及に関しては、町美華委員会からの提案により「ごま」や「アピオス」の栽培を試験的に実施し、本年度は面積の拡大を行っている。短時間で改善する手段、方法は難しいと考える。現在様々な事案を実施しながら、確実に問題解決に取り組んでいる。農業環境は非常に厳しい状況であるが、一つひとつ着実にその歩みを進めてまいりたい。

## 治安の強化・維持

**【質問】** 先述したマイナンバー制度導入により、類を見ない犯罪の発生が懸念される。町民への注意喚起等、町全体の危機管理能力を高める必要があると考えるが、町長の認識は。

聞いていない。しかし、住民一人ひとりが、被害者とならない心がけをして頂くとともに、町としては様々な犯罪事例の紹介やお知らせなどの啓蒙にこれまで以上に取り組んでいく。なお、ご提案の防犯カメラの設置や、町コミユニティバスにドライブレコーダーを搭載するなどの具体的な方法については、費用対効果などを検討しながら取り組んで行きたいと考えている。

**【町長答弁】**

にんにくの病害虫対策として、本年度より薬剤による消毒事業への支援を実施している。専門的な知識を有する県職員による説明会を開催したところ、本年度は約15ヘクタールの取り組みがなされた。耕畜連携事業について、昨年度に袖平地区有機生産組合に自走式堆肥散布機を導入し、葉たばこや、にんにく

## マイナンバー制度

**【質問1】**

平成28年1月から実施となるマイナンバー制度だが、番号による一元管理に不安や不快感が募っている。国に代わってメリットやデメリット、発足した背景等を丁寧に町民に周知啓発してもらいたいと望むが、町長の所見は。

の利便性の向上、行政の効率化を目的として、日本国内の全住民に一人ひとり異なる12桁の番号が、法人には1法人1つの13桁の法人番号が指定される。

来々年1月からは、税や雇用保険の分野での届出書類へ、再来年1月からは健康保険や年金の分野でのマイナンバー記載が始まる予定となっている。

**【町長答弁】**

まずマイナンバー制度について、公平・公正な社会の実現、国民

この制度によるメリット・デメリットについては数多く多種にわたる。議員のご要望に

ある住民への周知啓発については、必要に応じて取り組んで参る。なお、住民票や各種証明書をコンビニで交付するサービスや健康保

険証として利用するサービスについては、当面は財政負担のデメリットから田子町では実施しない。

個人情報の取得・詐欺行為が全国的に蔓延しているが、幸い田子町では被害があったとは

聞いている。しかし、住民一人ひとりが、被害者とならない心がけをして頂くとともに、町としては様々な犯罪事例の紹介やお知らせなどの啓蒙にこれまで以上に取り組んでいく。



沢口博二 議員

## 地方版総合戦略策定

【質問1】 国が進めているこの戦略を策定するつもりはあるのか。

【町長答弁】 現在、第六次総合計画の策定と重複したため遅れぎみだが、数値目標、重要業績評価指標を設定する段階まで進んでいる。

【質問2】 第六次総合計画とはどのような絡みになるのか。

【町長答弁】 第六次総合計画と地方版総合戦略とは、施策の方向性は一致して

いるもので、共に一体的、集中的に取り組むべきものと考えている。

【質問3】 策定中ならば、その主要な狙いだけでも示してもらいたい。

【町長答弁】 人口減少を止めるには、若者が住みたいと思い、結婚し、子どもを育てることができ、住環境と雇用環境をつくる必要があるとあり、それが大きな狙いと思っている。

## 日本で最も美しい村連合

【質問1】 連合に加盟した目的を教えてください。

【町長答弁】 日本で最も美しい村連合は、地域の観光的価値を高め、地域資源の保護と地域経済の発展に寄与する活動を推進、支援している特定非営利活動法人で、郷土に自信と誇りを持って暮らせる町にたく加盟したものである。

【質問2】 具体的な施策は考えられているか。

【町長答弁】 農家民泊、観光案内ボランティアガイドの育成等、来町者を増やし、もう一度訪れたいと思えるような仕組みを構築したいと考えている。

## 独居老人問題

【質問1】 町は65歳以上の一人家庭の数は把握しているのか。

【町長答弁】 一人暮らしの人口は264人であり、前年と比べ22人の増となっており、今後も増加が見込まれると考えている。

【質問2】 その問題点をどの程度とらえ、対策を講じているのか。

【町長答弁】 年金収入のみで暮らしている方は172人おり、その助成は地域全体で支え、また、親族による支援を啓蒙しながら、社会福祉協議会による生活福祉金貸付制度の活用についても周知を図って参りたいと考えている。

## 入札制度

【質問1】 町の工事の平均入札率は。

【町長答弁】 平成25年度は97.2%、平成26年度は95.2%となっている。

【質問2】 その数値を町長はどう受け止めている。

【町長答弁】 予定価格は適正に積算されたものであり、落札額が予定価格以下であれば、適正なものと認識している。

【質問3】 指名の機関、構成、指名の基準は。

【町長答弁】 指名機関として、副町長等からなる指名審査会を設置し、指名の基準は工事の種類、設計金額に応じ、対応する等級を選定している。



日本で最も美しい村連合の看板





欠端則夫 議員

ふるさと納税

【質問1】

全国的にふるさと納税が注目されているが、田子町のこれまでの金額の推移は。

【町長答弁】

平成20年度からの実績は延べ4581件、5289万9千円。24年度は23件、86万9千円。25年度は84件、165万8千円。26年度は2768件、2958万4千円。27年度は11月18日現在で1675件、1914万9千円。

【質問2】

収入の使い道は。

【町長答弁】

平成20年度から平成25年度は奨学資金基金に全額積み立てをしてきた。平成26年度分については、返礼品の代金分を差し引いた金額の1560万円をふるさと納税基金として積み立てている。また、寄附時に用途をご指定いただいた各項目については、平成28年度の当初予算へ反映させる。

【質問3】

お礼の品目と主な割合は。

【町長答弁】

平成26年度は21品目で、主な割合は田子牛69・4%、にんにく6・7%、果物3・8%、その他20・1%。牛肉が約7割を占めていた。平成27年度は37品目で田子牛39・5%、にんにく29・0%、果物16・6%、その他14・9%となっている。

【質問4】

全国の動向と注目する品目等は。

【町長答弁】

全国的に人気なのは、牛肉、米、魚介類だが、最近は電化製品、果物にも人気が集まっている。当町では、まだ私の中の案だが、グリーンツーリズムの体験、アメリカの姉妹都市ギルロイ市のガーリックフェスティバル訪問などを考えている。



お礼の品の1つ、たっこにんにく（Lサイズ1kg）

たっこにんにくと田子牛

【質問1】

たっこにんにくは増反を考える人も多いが、やめる人も一部ある。町では数多くの支援を行っているが、その効果は。

【質問3】

牛も販売価格が高く仔牛生産農家はうれしいが、肥育農家では増頭もままならない。町で考える方策と今後の価格推移をどう見ているか。

【町長答弁】

新規ほ場の申請面積は17・5ヘクタールで、総体的な面積の増加が予想される。また、連作障害などによる畑替えの申請は7・05ヘクタールあり、収量の増加が期待できる。

【町長答弁】

今後当面の間はこの状況が続くものと推測しており、あらゆる面から生産者の後方支援を図って参りたい。

【質問2】

品質はどれぐらい向上しているか。

【町長答弁】

への対応は。

【町長答弁】

品質は、JAへの出荷状況から球の大きさは毎年並み、A品率はやや良だが、B品・C品を加工用として出荷する生産者も見受けられ、把握が困難である。

【質問4】

TPP後の農畜産物

【町長答弁】

国や県に対しては国内産の農畜産物を「守る」ための対策を訴えていき、生産者には、この逆境の中でも勇気を持って挑戦できる環境や仕組みづくりに尽力して参りたい。



日 沢 一 雄 議 員

### 町の資源を 活用した町づくり

**【質問1】**  
加工商品開発の方向性と進捗状況は。

**【町長答弁】**  
ブランド認定委員会では黒にんにくの加工品を新たに2点認定し、合計34品目となった。産業振興戦略軍師からのアドバイスを受け、商品開発が進んでいる。

**【質問2】**  
産地目標販売額15億円達成の目処は。また、アンテナショップの販売状況は。

**【町長答弁】**  
栽培面積の増加と品

質向上を目指している。

CA冷蔵庫と乾熱処理施設の使用料の補助事業、新規ほ場栽培奨励事業を実施して目標達成に向けて参る。

アンテナショップについては9月28日にオープンし順調な販売状況が続いており、今後の推移を見守りたい。

### 地方創生に 基づく町づくり

**【質問1】**  
町の総合戦略策定状況は。

**【町長答弁】**  
目指すべき将来の方向性として、①魅力あふ

れる仕事づくり、②みんなが住み続けたいまちづくり、③結婚から始まる子育て総合支援、④高齢者が活躍できる社会づくりの4つを定め、人口減少に歯止めをかけることを目指して策定している。

**【質問2】**  
加工センター、直売所、にんにく研究所等の構想は。

**【町長答弁】**  
本年度予算において産業振興施設整備検討事業を予定している。町の農産物や加工品の総合販売施設と併設する形で加工所の設備など、また、にんにくの様々な情報などをわかりやすく展示、見聞できる施設として整備していきたい。

### いじめ問題

**【質問】**  
町内小・中学校のいじめの発生状況、内容別の件数、防止対策はどうなっているのか。

**【町長答弁】**  
ここ3年間の分について、24年度3件。内容は冷やかしかからかい、嫌な事を言われる。25年度、26年度は0件。今年度も10月末までは0件。防止対策について、各学校には「学校いじめ防止基本方針」の策定が義務づけられ、校内に「いじめ防止校内委員会」が設置されている。今後も万全を期してまいりたい。

### 貧困対策

**【質問】**  
町の貧困対策はどうなっているのか。(経済格差による教育の格差)

**【町長答弁】**  
国の制度として「生活保護制度」があり、現在町の受給者は67世帯84名。小学生をもつ家庭は1世帯、中学生をもつ家庭は無し、高校生をもつ家庭は2世帯となっている。また、町独自の「田子町奨学資金貸付制度」があり、現在49名の方が利用している。

26年8月には「子ども」の貧困対策に関する「大綱」を閣議決定している。県の補助事業も含めて調査・研究し、町としても支援して参りたい。

### 除雪対策

**【質問】**  
町の除雪対策・体制はどうなっているか。

**【町長答弁】**  
町内の道路除雪は、直営及び業者委託により実施している。集落

**【要望】**  
高齢者世帯に対する除雪支援は見直す必要があるのではないか。町内でも積雪量が大きく違う。積雪量に準じた支援体制を考えるべきと思うが。また、国道の除雪によって道路幅が狭くなり、左右の安全確認が困難な事が多い。排雪対策も適切に行って安全も確保していただくよう要望する。





山崎美代志 議員

### 町の農業を守る 支援策は

【質問】 TPPに関して、農業を守る町独自の支援策などの思案は。

【町長答弁】 必要なものは農家や関係団体等と連携を図りながら対応する。さらには、国や町単独の支援策により守る産業を推し進める一方で、TPP合意を有効に活用するため農産物や加工品などを海外へ輸出する攻めの産業スタイルを確立することが重要と考えている。

### 予算の削減

【質問】 予算執行上の歳出の抑制、削減をどのよう  
に考えているか。

【町長答弁】 予算作成、2箇年及び5箇年実施計画策定時に職員説明会を実施し、各担当課、財政当局において必要性・緊急性など、事業の内容・効果等を十分に検討・協議し、予算編成している。予算執行時にも見積書を徴収するなど、無駄な支出を省くことを心がけている。

### 職員採用

【質問】 町長の任期中における町職員の採用人数と今後の町職員の採用見通しについて、町長の見解は。

【町長答弁】 平成25年度は事務職4名、医師1名、平成26年度は事務職6名、平成27年度は事務職5名を採用しており、平成28年度採用として、事務職5名、うち社会人枠採用2名を内定している。今後の町職員の採用見通しについては、各年代に職員4人程度を理想として、継続した職員採用を進めていくこととしている。また、保健師や看護師などの資格を持った専門職については、事業運営の動向を鑑み、ここ数年は退職者を一部補充していきたいと考えている。

### 地方創生交付金 受給の見通し

【質問】 国は「地方版総合戦略」をまとめた自治体に交付金を支給するが受給の見通しは。

【町長答弁】 田子町の場合には、先行型交付金で申請した事業以外に、総合戦略策定前に追加申請すべき事業が見当たらなかったことから、上乘せ分の交付金を申請しなかった。

地方創生交付金については、先行型交付金事業として申請した11事業に対する3220万7千円が交付される。

### 要望に対する 取り組み状況

【質問】 一般質問への対応は。また、町民からの要望への対応は。

【町長答弁】 一般質問に対しては副町長や関係課長等により、問題意識の共有と細部の検討をし、町議会の各常任委員会や全員協議会で報告し協議して頂くよう努めている。

【質問】 毎週金曜日の午後が休診だが、医師確保のめどがいついたのか。

【町長答弁】 三戸中央病院や他の医療機関、個人の医師へも支援の打診をしたが充足することができず、現在も金曜日の午後は休診という状況が続いている。

### 医師確保

町では独自採用に向け、「全国自治体病院協議会」や「エムスリー」というインターネットを活用した医師求人広告を掲載している。さらに、これまでゆかりのあった先生方など情報交換を行うなど、人的な繋がりからも医師確保に向けて協議を進めている。県に対しては、来年度の医師派遣については、現状どおりの派遣を強く要望して参る。



# 議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会への参加、先進地視察を行っています。

## 協議

○実施日 11月16日

12月1日開会の平成27年第4回定例会の議事日程について協議した。

### 議会広報編集委員会

○実施日 9月30日

議会だより第85号の内容を確認し、誤字・脱字・レイアウト等、校正を行い、10月21日に発行した。

○実施日 11月16日

議会だより第86号の担当者、構成、スケジュールについて協議し、担当者等を決定し、順次業務を行っていくことにした。

## 議会の円滑な運営に向けて協議

### 議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員  
尾形憲男委員 沢口博二委員

## 事務事業調査

○実施日 10月20日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

### 【教育課関係】

教育課、県立高等学校将来構想検討会議に關する説明会を11月に開く説明後意見交換会を行う予定。出席しやすい工夫を検討するよう要望した。

### 【総務課関係】

ワイファイ環境整備をし、役場、中央公民館、図書館、上郷公民館の4か所で利用可能となる。

自主防災組織が10地区で結成され今後も説明会等実施する。

### 【住民課関係】

## 事務事業調査

○実施日 10月26日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

### 【診療所・老健の運営】

医師求人サイト2つに掲載募集しているが、医師の応募はまだない状況。

### 【健康増進課】

インフルエンザ予防接種について、ワクチンは値上がりするが、自己負担は1000円のまま。増額分は補正予算で対応するとのこと。

### 【住民課】

#### 社会福祉関係

社会福祉法人くりの木会から、田子保育園の新設整備に係る要望

書が提出されたと説明があった。

### 【建設課関係】

世紀越えトンネルの整備促進のため、費用便益分析、整備効果等の調査依頼をしているとのこと。

### 【産業振興課関係】

たっこにんにく製品向上対策事業の土壌病害虫対策事業他3事業について農家から申請があり、事業は進んでいる。

### 総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員  
椛本義見委員 澤口勝委員

## 防犯灯LED化 平成28年度に完了予定

## 防犯灯LED化整備

28年度390基設置し町内全域完了予定。

社会福祉法人くりの木会から、田子保育園の新設整備に係る要望書が提出され、今後議員全員協議会で検討していくよう申し入れた。

### 【税務課関係】

徴収状況は、昨年度比微増となっている。ふるさと納税、現在の寄付金額1524万円、来年4月からカード決済導入に向けて準備中。

### 【政策推進課関係】

総合戦略は前期5箇年計画の中から取り組みを進める。田子町長期人口ビジョンについて、課題解決の基本姿勢と目指すべき将来の方向性等が説明された。

性等が説明された。

### 産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員  
欠端則夫委員 山崎美代志委員

## 自走式堆肥散布車 14haに214t散布

## 事務事業調査

○実施日 10月26日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

### 【診療所・老健の運営】

医師求人サイト2つに掲載募集しているが、医師の応募はまだない状況。

### 【健康増進課】

インフルエンザ予防接種について、ワクチンは値上がりするが、自己負担は1000円のまま。増額分は補正予算で対応するとのこと。

### 【住民課】

#### 社会福祉関係

社会福祉法人くりの木会から、田子保育園の新設整備に係る要望

書が提出されたと説明があった。

### 【建設課関係】

世紀越えトンネルの整備促進のため、費用便益分析、整備効果等の調査依頼をしているとのこと。

### 【産業振興課関係】

たっこにんにく製品向上対策事業の土壌病害虫対策事業他3事業について農家から申請があり、事業は進んでいる。

## 定住自立圏の形成に関する勉強会

10月16日、第17回定住自立圏の形成に関する講演会が田子町を会場に開催され、八戸市議会議員をはじめ、地域7町村の議会議員及び関係者等約120名が出席しました。

講演会に先立ち、ガイダンスでは田子町にんにく専用CA冷蔵庫庫、県境産業廃棄物不法投棄現場視察を行いました。

その後、田子町タップコピアンプラザにおいて、総務省地域力創造グループ地域自立応援



県境産業廃棄物不法投棄現場視察

課長の黒瀬敏文氏を迎え、地方創生の最新動向と題して約45分間公演を拝聴しました。

講演会では、一億総活躍新三本の矢として、第1の矢 希望を生み出す強い経済

第2の矢 夢をつむぐ子育て支援

第3の矢 安心につながる社会保障  
など、一億総活躍について研修を終えました。

次回は、新郷村で開催予定であります。多くの方々の参加を望んでおります。

## 瑞山市と友好を深める



瑞山市議員のみなさんと記念撮影

10月28日から11月1日にかけて、当町の姉妹都市である大韓民国瑞山市へ表敬訪問を実施しました。文化・産業の交流を主眼とした視察で、澤口議長以下3名でバイオ健康産業にんにく製品工場、自動車製造工場等を見学した後、瑞山市「菊祭り」に参加してまいりました。

瑞山市は人口16万8

000人、面積約740km<sup>2</sup>、清浄で豊かな自然と韓国西海岸の中心地として絵のように広がる海岸線と韓国一の清らかさを誇る大都市です。毎年、約320種、一日最大50万羽の渡り鳥が集まる韓国を代表する世界的な渡り鳥の飛来地です。数万年にわたり堆積された干拓地の名産は、特にお米が有名、4年連続韓国代表ブランド大賞受賞の「六かけニンニク」、健康に良い「六年根の高麗人参」等、優れた品々が数多くあります。

11月23日、東京汐留に9月にオープンしたアンテナショップ「青森県たっこまち」の営業状況を視察した後に、市ヶ谷で「第30回東京田子会・総会及び懇親会」に参加してまいりました。会の方でも立ち上げてから30年という節目にあたり、夏に神楽坂で行った、田子高生による「田子神

## 東京田子会及び要望活動



東京田子会の参加者と記念撮影

楽・なにやどやら」のイベントを紹介していただき交流を深めました。

11月24日には青森県選出の国会議員の先生方、さらに衆議院議長公邸に行きまして大島理森議長に「世紀越えトンネル」早期着工を求める陳情・要望をしてまいりました。



にんにく専用CA冷蔵庫の視察



大島衆議院議長に要望書を提出



# 行政視察研修報告

先進地の取り組みを学び田子町の発展に生かすため、11月17日から20日の3泊4日の日程で県外行政視察研修を行いました。17日には島根県隠岐の島町で牛の飼育や増頭について、18日には島根県海士町で移住・定住と最新冷凍技術について、19日には岡山県真庭市でバイオマス事業について学んで来ました。

11/17

島根県

隠岐おきの島町しまちょう

## 隠岐の島町の概要

私たちが視察に行った隠岐の島町は、島根県の北東約80キロの日本海にあり、面積約240平方キロで、テレビ等でよく目にする竹島を有する町です。ほぼ円形の島で、平成16年に4町村が合併して1つの町になり、人口

は約1万5千人、そのうち高齢者が5500人ほどのことでした。古くからの風俗や祭事が残っており、後醍醐天皇が配流となった所です。固有の生物も多く、産業は水産業、農業、林業、畜産業が主との説明を受けました。



町で力を入れて増頭している隠岐牛

## 隠岐の島の牛



だんだん牧場視察

ガクガクと上下するプロペラ機に乗って着陸をやり直し、やっと隠岐の島町に着いたと思ったら、すぐにバスで移動。と言っても空港から直線で500メートルほどの所に今回の視察先「株式会社だんだん牧場」があった。企業参入ではじめてというこの会社は、肉用牛繁殖経営で、現在185頭を飼養しており、

平成29年には250頭に増頭を計画しているとのこと。

牛舎は各種の事業を導入活用し、とても安価で建てたという。

施設は牛舎4棟、哺育舎1棟、隔離牛舎1棟、堆肥舎3棟、飼料庫1棟、管理舎1棟となっていました。

母牛はほぼ通年放牧で、出産の1ヶ月前に牛舎へ移し、出産から3ヶ月で放牧というサイクルになるそうです。

放牧は主に町の公共牧場を使用し、ここでは85ヘクタールのうち、半分を放牧、残りで牧草を採ると説明を受けました。

この地区は冬の積雪が20〜30センチメートルで、冬も放牧しているという。



隠岐の島町役場での説明会

町、県、JA等による協力も、技術面や衛生面、経営会議、自給飼料対策など多種で、

## 隠岐の島町を訪問して

隠岐の島は本当の島だが、田子町も陸の孤島のような所に感じられることがある。

もっとも私たちが遠くても、車で町外へも行く分、流通が楽だと思っ。

隠岐はそれがないので、水産、農林畜産業に力を入れ、特に牛には力を入れている。

全島で470頭の牛を、平成32年には700頭にと目標を示して、島外への運賃7万円の補助も決めた。産業への町の本気度を見た気がした。

雌牛導入には20万円の補助があるそうです。

ただ、母牛の系統を見ると、失礼ながら一流の牛は数頭しかいなかった。

市場は年3回、3月、7月、11月で、当然ながら体重の小さな牛も出さざるを得ないので、価格は去勢で平均58万円、雌48万円くらいとのことでした。

11/18

# 島根県

## 海士町

### 海士町の概要

海士町は面積33平方キロ、人口2000人、本土からは高速船及びフェリーで2〜3時間の隠岐諸島の島前三島のひとつ、中の島にある町です。

1221年、後鳥羽天皇が海部に流刑とな



島の入口にある複合施設「キンニャモニャセンター」

全国的な知名度を誇る海士町は、後鳥羽天皇が海部に流刑とな

り崩御されるまで19年間暮らしたという離島であり、「ないものはない」とのキャッチコピーで、外海離島のハンディキャップを、島をあげての産業振興や教育、特に行財政改革で全国から視察が押し寄せる先進地であります。

海士町にある島根県立隠岐島前高校は唯一の高校であり、少子化の影響を受け、約10年間で入学者数が77人(平成9年)から28人(平成20年)に激減し、統合の危機が迫っていました。高校がなくなると、島の子どもは15歳で島外に出ざるを得なくなり、送り等の経費負担や、それを機に転出してしまいう島民が続出する危機を、山内道雄町長が「自ら身を削らない改革は支持



公営塾「隠岐國学習センター」

### 町全体で子育て支援

されない」との信念のもと給与カットを宣言し、約2億円もの行財政改革を断行。現在では高校も存続し、326世帯、483人のイターン者が海士町に定住しています。学校連携型の公営塾も、島外からの定住者を講師に、学力に加え社会人基礎力も鍛える独自のプログラムを展開し、島で育った若者が将来的に島に戻って活躍するとう、人の循環型の「島づくり」を鋭意推進しています。「自分たちの町は自分たちで守るしかない」という思いを共有する、島をあげて一体感、施策は今後も全国自治体の素晴らしい手本となるはず

### 町の支援策(未来のための町づくり)



海士町のキャッチコピー

対策として町職員給与カット分を財源として充当し「海士町子育て支援条例」を制定。結婚、出産祝い金、不妊治療、出産のための交通費助成、保育料は第三子以降無料、数々の助成に加え、島での就職や起業、島暮らしの運動を積極的に展開し、若者、よそ者、馬鹿者が島興しの原動力になっていきます。(Uターン204人)

### 海士町を訪問して

「まちづくり」の原点は、究極「人づくり」にある。持続可能な地域社会をつくる力「人間力」が即ち「地域力」となる。感銘を覚え、視察の主眼は我が町の高校存続問題への対応でしたが、島民一丸となつて、子育て・教育・人づくりに取り組む姿勢に改めて、高校の存続自体より深く考え、勉強しなければならぬ、町を挙げての人づくりに対する意識の高揚・施策の検討が急務であると深く考えさせられた実り多い研修でした。

イターンとは  
人口環流現象のひとつ。出身地とは別の地方に移り住むこと。



真庭市の概要

真庭市は岡山県北部の中国山地の中央に位置し、北は鳥取県に接し総面積828平方キロメートル、岡山県で最も広い面積の自治体です。

北部は標高の高い山々が連なり、豊かな森林資源があり、南部は平坦地が広がり、農地、商業地、工業地が形成されています。



地元材を利用した真庭市役所

古くから、山陽、山陰の中継地として交通の要衝に位置し、固有の工芸、文化が遺っています。

人口は4万8千人程度、中国縦貫自動車道及び中国横断自動車道岡山米子線の2つの高速道が東西に走り、市内には5つのインターチェンジがあり、交通の要衝としての位置づけは、現在も変わっておりません。

真庭市の産業

まず、鳥根県海士町の視察後、天候不順により予定していた視察内容が、市役所訪問のみになってしまったこととお詫びします。

予定では、その後に各施設、事業所訪問もあったのですが、残念です。

真庭市を視察先に選んだのは、何と云っても木質バイオマス発電において、今や日本の最先進地になっているということからです。



真庭バイオマス発電所

さらに、現在はそれにとどまらず、CLT（直交集成材）、ペレット等の生産等、新たな産業の育成も振興しております。

かような状況ですから、全国から視察は引きも切らず、それは一つの事業とさえなっています。この事は鳥根県の海士町も同様でした。殺到する視察は、

行政がその度に対応する許容を越えています。これも新たな産業です。1つのハードから観光というソフト事業への展開は見事な仕事ぶりだと思えます。

田子町にも参考になる点です。自然に恵まれたこの田子で、同じことができなない筈がありません。意識を変えなければならぬと思います。何も無い、ということは一つの財産ではないでしょうか。

バイオマス産業のスタート



庁舎内の冷暖房はバイオマス (画像は議場)

市役所との問答では、とにかく山資源を生かして生きていこうと、それがスタートだった

とのことでした。高速道路の開通は、便利になるが産業・人口の流出が加速するのではとの危機感から、地域の若手経営者が集まり、「21世紀の真庭塾」という勉強会を始めたそうです。そこで、地域にある木材資源を活用、発展させるという方向性を打ち出し、官民一体となって取り組んできたことが現在に繋がっている、とのことでした。まさに足下を見よということではないでしょうか。

真庭市を訪問して

製材業者が30社もある真庭市とは、被我の条件が異なり、同列には論じられません。しかし、それとて今だから言えることです。田子も山林はあるのです。まずは木材の集積場を作り、出荷の体制をつくるべきではないでしょうか。それと、ペレット製造は無理にしても、薪ストーブの見直しを進めるべきと考えます。田子では比較的使われていますが、薪の生産、販売を組織的に行える仕組み作りをまず、進めたらどうでしょうか。

# 町の方から ひと言インタビュー

町の方から、定例会を傍聴しての感想や、議会への意見など、お話を伺いました。

## 田子町の女性の活躍に期待



八戸農業協同組合田子支店  
支店長 山美 知子さん (60)

議会だよりを読ませていただき、町議会の様子や、議員の皆さんの活動がわかり、発行を楽しみにしております。画面では流れてしまうことも、活字は何度も読み返すことができるのがいいですね。

さて、農協が広域合併をして6年が経過し、田子町出身の職員も管内を異動することも多くなりました。私も昨年までは五戸町倉石に配属され、今年4月に4年ぶりに田子支店に戻りました。地元の皆様にあられる支店づくりを目指し、農協祭りなどに取り組んでおります。

田子支店に異動になり、協働のまちづくり町民会議に出席する機会をいただき、町が取り組んでいることや、「第六次田子町総合計画」

で、これから取り組もうとしていることが分かってきました。これからの取り組みに大いに期待をしております。

ところで、最近の私の楽しみは、テレビで「あさが来た」を見ることです。日本で初めて女子大学を創った女性実業家「広岡浅子」さんがモデルになっているとのことですが、「なんでどす」と「びっくりぼん」の口癖も、楽しいですね。

幕末の大阪で、明治、大正の激動の時代を生き、キャリアアウーマンとして男性社会の中でも堂々と生きてきた「あさ」。今の女性の社会進出の見本のような方だと思います。

女性が元気で活躍できる町には、賑わいがあると思います。

J A 女性部の歌に

『さあ、女性らしく、生きてゆこう。明日、輝くために。』

というフレーズがあります。

一億総活躍の時代。田子町の女性がキラキラと輝き、活躍していきますように。

山美支店長、お忙しいなかご協力いただき、ありがとうございました。今後とも、田子町議会をよろしくお願ひします。

## 編集後記

長らく途絶えていた議会広報も昨年度から発刊にいたり、議員総意のもとに第86号を発行することができました。

議会は住民から付託を受けた根本精神を忘れることなく、常に住民に寄り添い、一体となってその職務に専念していきたい。また、住民に開かれた議会として、活動の状況を広報を通じて、また、議会報告会、住民の意見を聞く懇談会等の開催も今後企画していきたい。

(日沢一雄)

### 発行・編集責任者

議長 澤口 勝

### 議会広報編集委員会 (第86号)

委員長 宮村 尚哉  
副委員長 宇藤 大介  
委員 日沢 一雄  
尾形 憲男  
沢口 博二

### 執筆協力

欠端 則夫  
山崎 美代志  
山美 知子